

釧路南ロータリークラブ会報

第3回 例会報告 2009.7.17 通算1309回

・点 鐘 工藤会長

・ロタリーソング
「それでこそロータリー」



ソングリーダー 菅井 紀之会員

・入会記念祝
和田 優会員 S 60. 7. 19 (24年目)

・会長挨拶



皆さん、こんにちは。昨日16日キャッスルホテルにて第3回会長・幹事会がありましたのでご報告させていただきます。

議題

ガバナー公式訪問について 釧路南RC
8月7日 14:00~15:00 会長・幹事懇談会
15:00~17:00 クラブ協議会
17:00~17:45 公式訪問例会
18:30~ 釧路キャッスルホテルにて
釧路市内6クラブ合同ガバナー歓迎会

小船井パストガバナーより、ロータリー財団地域セミナーと地区の補助金などについてご講話を頂きました。

阿寒湖RCが終結して、その奉仕事業継続について南RC長倉幹事より説明して頂きました。

釧路RC中井様より交換留学生について説明
釧路西RC井岸様より韓国青少年短期訪問団受け入れについて説明

8月3日夜 19:30 釧路着

8月4日(火)ウエルカムパーティー全日空ホテルにて 18:30~

8月8日(土)フェアウエルパーティーアクアベールにて 18:00~と決まりました。

また、南RC理事会にて色々検討の結果、この度南RCはホームステイ受け入れを、辞退させて頂きましたこと、皆様に報告させて頂きます。昨夜の会長・幹事会で、釧路RCの中井様と羽生会長・田中幹事より交換留学生について、自分が大きな誤解と勘違いをしていた事を、この度初めて知りました。この件については春日補佐幹事より書面を頂く事になっております。後ほど皆様にもきちんとお話させて頂きます。

・幹事報告



- * 地区大会の締め切りが迫っております。出欠の回答をお願いします。参加予定者が少ないので、ご協力をお願いします。
- * 各ロータリークラブより活動計画書、厚岸ロータリークラブより会報を拝受しております。
- * ガバナー公式訪問は8月7日です。時間が変更となりますので、追ってご案内いたします。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

和田 優会員 : 入会記念祝として

佐藤 玄史会員、北上 俊一会員

原田 眞則会員、花田 善廣会員

工藤ゆかり会員、長倉巨樹彦会員

長井 一広会員、菅井 紀之会員

山本 美穂会員、長江 勉会員

一年間宜しく
お願い致します。

出席委員会

会員 25 名 13 名出席メイキャップ 0 名 52%

・本日のプログラム

「役員・理事就任挨拶・活動計画発表2」

担当 会長・幹事

副会長 長江 勉会員



クラブ細則第3節に基づき、会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行う。このことは会長を補佐することが最大の任務としつつ、クラブ定款、細則に従い、クラブ運営がスムーズに行われているか把握する。

1. 会長不在時の会長代行。
2. クラブ運営・クラブ管理委員会に精通する。
3. 活動計画書通り委員会活動が行われているかチェックする。
4. C L P 導入によるクラブ活動の遂行及び見直しへのサポート。

会計 長江 勉会員

クラブ会計の任務は、クラブ細則に定められている通り、すべてのクラブ資金を管理保管し、毎年1回及びその他理事会の要求ある毎にその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うにあると定められており、これを遵守すると共に、クラブ収支予算書に基づき、幹事と連携を密にし、資金の受

入や、支払いについて迅速に遂行し、四半期毎に予算執行状況を理事会に報告し、また財務報告書を作り、クラブ財政の収支を健全に保ち、明確な会計を行います。

プログラム委員長 菅井 紀之会員



本年度の、会長方針に添った、楽しめる、例会作りのために、会長、幹事、各委員会と綿密に連携をとりながらプログラム作りを進めたいと思います。又会員一人一人が例会に参加意識を持ち、出席したプラスになったと思われるようなプログラムにしたいと考えております。そのために次の通りの活動計画をたてます。

- 1) ロータリー月間に合わせたプログラムを取り入れて、会員がロータリーをよく理解できるよう努める
- 2) 会員相互の親睦を深める為、全会員に自由なトーク(3分間スピーチ)の会員卓話を取り入れます
- 3) 野外例会、移動例会、職場訪問例会、家族同伴例会は継続して、これを行います。
- 4) 夜間例会を増やして、交流を深め出席率向上を計ります。
- 5) 毎月の最終例会で、翌月のプログラムの発表をいたします。

ロータリー情報委員長 花田 善廣会員



ロータリー情報委員会の任務は、会員候補者にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間、新会員のオリエンテーションを監督するものとあります。本年度は下記目標を掲げ活動を実施して行きたいと思います。

1. 会員候補を含めた、新入会員を対象としたロータリーについて早期理解できる研修会を実施する。
2. 例会においてロータリーに関する情報の提供を行う。
3. 新入会員を含むクラブ会員に勉強の意味を含め地区大会・IMなどへの積極参加を勧める

社会奉仕委員長 花田 善廣会員

ロータリアンの一人一人が「超我の奉仕」の心を持って地域に住む人々の生活の質を高め、公共の為に奉仕することは私たちの責務と考えます。地域に求められる奉仕活動を実践することによって、ロータリークラブが地域社会から理解され、地域に和が広がり、クラブの輪も次第に大きくなり、より強固な結束を持つクラブに成長できると考えます。地域社会において自分に何ができるかを問い、少しでも貢献できるよう心がけます。会長方針に従い「環境保全委員会」「新世代委員会」と協力して実践して行きます。

クラブの重点目標

1. 植樹
2. 献血の拡大、促進
3. 障害者施設の訪問と交流

新世代奉仕委員長 佐藤 玄史会員



青少年への奉仕プログラムの実施に向け取り組んでいく。青少年の取り巻く状況、環境はきびしく、近年大きな社会問題が山積しています。身近な問題を提起しつつ、新世代委員会として次代を担う青少年と向かい合う活動が求められていると思います。

(活動目標)

1. ライラセミナー (R Y L A) への参加
2. 新世代月間(9月)の活用
3. 青少年との交流

米山記念奨学会委員長 原田 真則会員



1952年、日本ロータリーの父 米山梅吉氏の遺徳を記念して、東京ロータリークラブが「米山基金」の構想を立て、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省の許可を得てロータリー米山記念奨学会が設立されました。50有余年の歴史をもち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。当委員会は米山奨学事業に深い理解とより一層の貢献を果すべく努めてまいります。米山奨学事業のPR、寄付の推進を本年度の活動目標とします。



・次回のプログラム

7月24日(金)

「ガバナー公式訪問を前にして」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：会長・幹事

・点 鐘 工藤会長

今週の会報担当：長江勉会員